

地歴部模試日本史 問題用紙

第1問 A～Gは仏教の宗派である。以下の問いに答えよ。

A、浄土宗 B、浄土真宗 C、臨済宗 D、曹洞宗 E、真言宗 F、時宗 G、日蓮宗

問1 A～Fの開祖とA～Gの中心寺院として適当なものを次からそれぞれ選べ。

い、栄西 ろ、一遍 は、親鸞 に、空海 ほ、道元 へ、法然

と、久遠寺 ち、清浄光寺 り、本願寺 ぬ、建仁寺 る、知恩院
を、金剛峯寺 わ、永平寺

問2 A～Gのうち鎌倉新仏教に含まれないものを選べ。

問3 A～Gのうち禅宗をすべて選べ。

問4 鎌倉時代の

問5 日蓮はある題目を唱えることで救われると説いたがそれは何か。漢字7文字で答えよ。

問6 鎌倉時代末期には鎌倉仏教の影響を受けた独自の神道が発達した。この神道の名前と大成させた人物をそれぞれ答えよ。

問7 問6の人物は、従来の神は権現であるとする説とは反対の神を主として仏を従とする説を唱えた。それぞれの説の名前を答えよ。

第2問 日本列島の中のある地域に関する次のA～Gを読み後の問いに答えよ。

A、弥生文化が及ばず食料採集文化が続く。

B、各地の首長である（ア）が城を拠点として勢力をひろげ、北山・中山・南山の3つの勢力に統合された。

C、中山王の（イ）が統一し、（ウ）王国がつくられる。

D、明（清）との朝貢貿易を行う。

E、島津（エ）の軍に征服され（オ）藩の支配下に入る。

F、（ウ）国王の代わりごとに就任を感謝する（カ）を、江戸幕府将軍の代わりごとに奉祝する（キ）を幕府に派遣した。

G、明治政府は（ウ）藩をおいて政府直属とし、（ウ）国王の（ク）を藩王とした。その後、琉球藩を廃止し沖縄県を設置し（ウ）王国は消滅した。

問1 空欄ア～クに当てはまる言葉を答えよ。

問2 Aを何時代というか。

問3 Bについて北山の拠点であり世界遺産にも登録されている城は何か。

問4 Dについて、朝貢貿易とは何か。2行以内で説明せよ。

問5 Gについてこの過程を何というか。

第3問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

（ア）建立の詔

宜しく天下の諸国をして各敬みて七重塔一区を造り并せて金光明最勝王經、妙法蓮華經各一部を写さしむべし。（中略）又国毎の僧寺には封五十戸、水田十町を施し、尼寺には水田十町。僧寺には必ず廿僧有らしめ、其の寺の名を^ア金光明四天王護国之寺と為し、尼寺には一十尼あって、其の寺の名を^イ法華滅罪之寺と為す。両寺相共に宜しく教戒を受くべし」と。

大仏建立の詔

冬10月辛巳、詔して曰く。

「天平十五年歲次^ウ癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を發して^エ盧舎那仏の金銅像一軀を造り奉る。国銅を尽して象を鎔し、大山を削りて以て堂を構へ、広く法界に及ぼして朕が知識と為す。遂に同じく利益を蒙しめ共に菩提を致さしめん。夫れ天下の富を有つ者は朕也、天下の勢を有つ者も朕也。此の富勢を以て此の尊像を造る。事や成り易き心や至り難き。」

問1、アには金光明四天王護国之寺を示す言葉が入るが何か。

問2、 イの別名を答えよ。

問3、 全国のアの総本山となった奈良県内に位置する寺は何か。

問4、 全国のイの総本山となった奈良県内に位置する寺は何か。

問5、 ウは何年か。(八世紀中頃である)

問6、 (エ)は何宗の本尊であるか。(問3の寺の宗派)

問7、 (ア) 建立の詔と大仏建立の詔はどちらも同じ天皇から出されたがそれは誰か。

問8、 大仏造立の詔は近江にある離宮から出されたがそれは何か。

第4問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

1866年に公武合体論の立場で過激な攘夷派を抑えていた(ア)天皇が急死したことが一因で薩長両藩は武力倒幕を決意した。幕政の立て直しを図っていた15代将軍徳川(イ)は討幕派の先手を打って政権を返還することを決め、1867年10月14日に(ウ)の上表を朝廷に提出した。同日、薩長に対し(エ)が下された。同年12月9日(オ)が討幕派武士と結び(カ)を発して天皇を中心とした新政府を樹立した。これにより摂政・関白・幕府は廃止され新たに三職(キ・ク・ケ)が設置された。同日夜に三職によって行われた(コ)会議により(イ)の内大臣辞任と領地返納が決定され、(イ)は新政府と軍事的に対決することとなった。1868年1月京都での(サ)で旧幕府軍は敗れた。4月には(シ)と(ス)の話し合いにより江戸城は無血開城された。5月上野寛永寺で一部幕臣が(セ)を結成したが1日で敗退した。また東北諸藩が反新政府同盟である(ソ)を結成したが新政府軍に敗北した。1869年に箱館の(タ)で旧幕臣の(チ)が降伏したことで一連の内戦である(ツ)は終結した。

問1 空欄ア～ツに当てはまる言葉を答えよ。

問2 (ウ)により(イ)はどのような政治を想定していたのか。2行で答えよ。

問3 (ツ)の後に偽官軍として扱われた隊と隊長の名前を答えよ。

第5問 以下の文を読んで次の問いに答えよ。

- A、8代将軍足利（ア）の弟（イ）と子（ウ）の間で家督争いがおこる。（エ）と（オ）の介入により対立は激化し、1467年に東軍の（エ）と西軍の（オ）に分かれて戦った。戦国時代の幕開けとなったこの戦いを（カ）という。
- B、15世紀は多くの一揆が発生した。農民勢力が困窮した武士と共に特性を求めて蜂起することを（キ）一揆（徳政一揆）という。また武士や地域住民が騒乱から地域の秩序を守るために蜂起することを（ク）一揆と呼び、1485年に畠山氏の軍を国外に退去させた（ケ）は有名である。浄土真宗の門徒が守護大名と対立して蜂起した（コ）もあった。
- C、領国を作り独自の支配を行う戦国大名が登場した。戦国大名は領国支配の基本法である（サ）法（家法）を制定したり、家臣の紛争での私闘を禁じすべての紛争を大名による裁判にゆだねる（シ）法を制定したりした。また農民の耕作する土地面積や年貢量を調べる（ス）や大河川の治水を行った。
- D、戦国大名の領国の政治・経済・文化の中心として城下町が形成され、浄土真宗の勢力の強い地域では寺院などを中心に（セ）が建設された。

問1 空欄ア～セに当てはまる言葉を答えよ。

問2 下線部について甲斐の武田氏が釜無川と御勅使川の合流点に築いた堤防の名前は何か。

問3 Dについて以下の城下町を治めた戦国大名を答えよ。

い、小田原 ろ、春日山 は、一乗谷 に、山口 ほ、駿府